



まだ死にたくない

● 家内は、普段から人の生死について“虫が知らせる”タイプです。先日、そんな家内が生命保険のことを聞いてきました。家のローンが莫大なため、僕に何かあった時のことを心配したようです。その晩僕は旅支度の夢を見ました。持って行く服が散らかり、このままでは旅に出られないというシーンでした。現実の僕も、まだこの人生で何もしていないという気持ちが強く、不安ばかりが残っています。(MO・40代男性)

今週のお助け人

き え りゅうしょう
帰依 龍照さん

コザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職。琉球大学仏教研究会会長。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしてあげれば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怨みは水に流せ」。

他人の生死が分かる「スゴイですね。奥様の不思議な力については、直接お会いしたことがありませんので詳しくはお答えできませんが…。一般的にこのような体験をされる方々をすぐに『サーダカマリー』『タカウマリー』と霊的に結論付けるケースが多いような気がいたします。しかし、わたしが奥様に実際お会いできたとして、「他人の生死が分かるくらいなら、あなたの大切なご主人がいつ何歳で亡くなられるのか、当然分かりますよね」と意地悪な質問をしても、なかなか答えられないものです。夫婦は近過ぎる関係ですから。

「虫の知らせ」という言葉があるように、会話がなくとも相手の表情や態度、行動で人の様子を感じることだって、たくさ

んあるんですね。長いこと会っていないから電話したら、声に張りがなく、病気かなと思つたら実際そうだった…とか。まさかそんな時に「わたしは、もしかして超能力があるのかも」とは判断しませんよね。回答者としては、MOさんが奥様の言葉をどのように受け止めているのが心配です。

奥さんの言葉より あなたの生き方が心配

失礼な言い方かもしれませんが、「家内が僕に生命保険のことについて聞いたこと」は、ご夫婦であれば、生命保険のことはお互いで確認し合わなければならぬ作業であり、奥様の不思議な能力とは別問題でしょう。MOさんがその夜に見た「旅支度」の夢は、心理学で言う「深

層心理」、仏教学で言う「末那識」つまり無意識世界の中に、昼間の奥様の発言がインプットされ、睡眠中に表現されたものであると考えられます。あまり気になさらない方がよろしいかと思えます。

もっと重要なのは、「僕は人生で何もしていない」「不安ばかりが残る」というMOさんの現在の気持ちです。

「生死」とは、「生きる」「死ぬ」という言葉が表裏一体となっていて、昔の先輩方が言われているのは、人生とは「生きつつ死にゆくもの」であり、「死につつ生きるものなり」。つまり、より良く生きるためには、より良く自分の死を考えておかなければならない、という意味なのでしょう。

誰しも、自分の死なんて考えたくないですね。住職だつて、MOさんと同じです。しかし、人生、お互いそろそろ、マラソンでいう折り返し地点に差し掛かるうとしていきますよね、年齢的に！ 奥様からの助言をプラ

スに受け止めてください。愛さ

れているからこそ、今夜でも後のお互いのこと、再度、鍋を囲みながら話し合われてはいかがでしょうか。もしもの時に備えることこそが、一番の有意義な人生であるはずですよ。

「不惑」という言葉は、四十代にして、惑わずではなく、四十代にして、惑うから惑わず。だと師匠からお聞きしたことがあります。戒めなんだそうですよ、あの言葉は。

「目の前の、睫の如く、近くして 見ること能わず 地獄極楽」

近過ぎて見えにくい、ご自身の人生だからこそ、今が、振り返り考察する良い機会ではないでしょうか？ まずは、お部屋の掃除から：良い意味で、身辺の整理をしてみたいかがですか？ 意外と落ち着きますよ。

このコーナーは年齢性別・職業の異なるアドバイザーがあなたの心の悩みに答えます。相談したい事を編集部までお送りください(匿名可・秘密厳守)。採用分には記念品を差し上げます。



さっきから隣のお兄さんが食べているあげパンが気になってしょうがない。このあと強引なおねだりを決行するも、やんわりと拒否されていた。那覇市牧志にて。(用高)